

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第1項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 4	箇条 4 一般要求事項（JIS C 9335-1（以下、第1部）の規定による。） 機器は、通常使用時に起こりやすい不注意があっても、人体及び／又は周囲に危害をもたらさないように安全に機能する構造でなければならない。	
第二条 第2項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 25 25.5	第1部の第二条第2項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 25 電源接続及び外部可とうコード 25.5 電源コードは X 形取付けをしてはならない。	
第三条 第1項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転（第1部の規定による。） 機器は、異常運転又は不注意運転によって、火災の危険、及び安全性又は感電に対する保護に影響を及ぼす機械的損傷を、できるだけ未然に防止できる構造でなければならない。	
第三条 第2項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前項の規定による措置のみによってはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7 7.1 7.12	第1部の第三条第2項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 7 表示、及び取扱説明又は据付説明 7.1 機器は、最大浸せき水位及び最小浸せき水位を表示しなければならない。 7.12 取扱説明書には、次の趣旨を記載しなければならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第三条 第2項 続き					<ul style="list-style-type: none"> － 浸せきヒータと一緒に用いる容器の詳細 － 浸せき水位を線だけで機器に表示する場合には、線の意味 － 浸せきヒータを液体から取り出す前に、必ずプラグを外す。 － 電熱素子はプラグを外した後も熱いので、電熱素子に触れたり、電熱素子を可燃性のものの上に置いたりしない。 <p style="margin-left: 2em;">取扱説明書には、機器は外部タイマ又は他の遠隔操作システムを用いて運転することを意図していない旨を記載しなければならない。</p>	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	23.3 25.14 箇条 31	23.3 内部配線は、折曲げ試験の結果、異常を生じてはならない。(第1部の規定による。) 25.14 シースなしの平形電源コードは、折曲げ試験の結果、異常を生じてはならない。(第1部の規定による。) 箇条 31 耐腐食性 (第1部の規定による。) 腐食によって機器がこの規格に適合しなくなるおそれがある鉄製の部分は、防腐食対策を十分に施さなければならない。	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 6	第1部の第五条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 6 分類	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第五条 続き	安全設計	物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。		6.2	6.2 浸せきヒータは、IPX7 以上でなければならない。	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 11 22.21 箇条 24 30.1	箇条 11 温度上昇（第 1 部の規定による。） モータ巻線、配線及び巻線以外の絶縁物の上限値は、表 3 に規定する値を超えてはならない。 22.21 木材、綿、絹、紙その他これに類する繊維性又は吸湿性がある材料は、含浸を施さない限り絶縁物として用いてはならない。（第 1 部の規定による。） 箇条 24 部品（第 1 部の規定による。） 部品は、合理的に適用できる限り、関連規格に規定する安全性に関する要求事項に適合しなければならない。 30.1 非金属製の外側の部分、接続部を含む充電部を保持する絶縁物、及び付加絶縁又は強化絶縁として用いている熱可塑性絶縁物は、十分な耐熱性をもっていなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第七条 第 1 号	感電に対する保護	電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。 一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 8 箇条 22	箇条 8 充電部への接近に対する保護（第 1 部の規定による。） 箇条 22 構造（第 1 部の規定による。） 充電部が、可触金属部に接触するおそれがない構造でなければならない。	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第七条 第1号		保護すること。		25.22 箇条 26	25.22 機器用インレットは、コネクタの挿入及び取外しの間、充電部に触れないような構造でなければならない。(第1部の規定による。) 箇条 26 外部導体用端子 (第1部の規定による。) 端子は、外郭のカバー又は一部を取り外さないと触れることができないものでなければならない。	
第七条 第2号	感電に対する保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	■該当 □非該当	箇条 13 箇条 16 22.5 箇条 27	箇条 13 動作温度での漏えい電流及び耐電圧 (第1部の規定による。) 箇条 16 漏えい電流及び耐電圧 (第1部の規定による。) 22.5 通常使用時に差込プラグのピンに触った場合に、充電されたコンデンサからの感電の危険がない構造でなければならない。(第1部の規定による。) 箇条 27 接地接続の手段 (第1部の規定による。) 絶縁不良が生じた場合に充電部になるおそれがあるクラス 0 I 機器及びクラス I 機器の可触金属部は、接地極に確実に接続しなければならない。	
第八条	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	■該当 □非該当	箇条 11 箇条 13	箇条 11 温度上昇 (第1部の規定による。) モータ巻線、配線及び巻線以外の絶縁物の上限値は、表3に規定する値を超えてはならない。 箇条 13 動作温度での漏えい電流及び耐電圧 (第1部の規定による。)	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第八条 続き				箇条 14 箇条 16 箇条 17 箇条 19 箇条 29	箇条 14 過渡過電圧（第 1 部の規定による。） 機器は、発生する可能性がある過渡過電圧に耐えなければ ならない。 箇条 16 漏えい電流及び耐電圧（第 1 部の規定による。） 箇条 17 変圧器及びその関連回路の過負荷保護（第 1 部の 規定による。） 変圧器から電源の供給を受ける回路をもつ機器は、通常使 用時に生じる短絡においても、変圧器の巻線は表 8 に規定 する値を超えてはならない。 箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 異常運転試験において、絶縁物の温度上昇は表 9 に規定 する値を超えてはならない。 箇条 29 空間距離、沿面距離及び固体絶縁（第 1 部の規定 による。）	
第九条	火災の危険源か らの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及 ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがない ように、発火する温度に達しない構造の採 用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措 置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19 19.2	第 1 部の第九条に該当する規定によるほか、次による。 箇条 19 異常運転 19.2 機器は、最も不利となる姿勢で、試験枠の床の上に 置いたとき、火災の危険を生じてはならない。	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人 体に危害を及ぼすおそれがある温度となら	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	22.13	22.13 通常使用状態でハンドルをつかんだときに、表 3 の “通常使用時に短時間だけ保持するハンドル”についての	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十条 続き		ないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。			規定値を超える温度上昇部分と、操作者の手との間で接触のおそれがない構造でなければならない。(第 1 部の規定による。)	
第十一 条第 1 項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自身が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	20.1 22.14 22.15 23.1 25.9	20.1 固定形でなく、かつ、手持形でもない機器で、床上又は卓上で用いる機器は、十分な安定性をもっていなければならない。(第 1 部の規定による。) 22.14 機器には、通常使用時又は使用者による保守の際に危険を及ぼすおそれがある凹凸のある角又は鋭い角があってはならない。(第 1 部の規定による。) 22.15 可とうコード用の巻付けフックその他これに類するものは滑らかでなければならない。(第 1 部の規定による。) 23.1 配線路は、滑らかでなければならない。(第 1 部の規定による。) 25.9 電源コードは、機器のとがった部分又はとがった角に接触してはならない。(第 1 部の規定による。)	
第十一 条第 2 項	機械的危険源による危害の防止	2 電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	20.2 箇条 21	20.2 保護外郭、ガードその他これに類するものは、十分な機械的強度をもっていなければならない。(第 1 部の規定による。) 箇条 21 機械的強度 (第 1 部の規定による。) 機器は、十分な機械的強度をもっており、通常使用時に予	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十一 条第2項 続き				22.11	想される手荒な扱いに耐えるような構造でなければならない。 22.11 充電部、湿気又は運動部への接触に対する保護のための着脱できない部分は、通常使用時に生じる機械的応力に耐えなければならない。(第1部の規定による。)	
				23.3	23.3 通常使用時に外力が加わる電気接続部及び内部導体に過大な応力が加わってはならない。(第1部の規定による。)	
				25.22	25.22 機器用インレットは、コネクタを挿入及び取外した場合に、端子のはんだ付け部に機械的応力が加わらない構造でなければならない。(第1部の規定による。)	
第十二 条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■該当 □非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転 (第1部の規定による。) 異常運転試験において、危険な量の有毒性のガスが機器から漏れてはならない。	
				22.22	22.22 機器は、アスベストを含んではならない。(第1部の規定による。)	
				22.23	22.23 機器には、PCB を含んだ油を用いてはならない。(第1部の規定による。)	
				22.41	22.41 機器は、ランプを除き、水銀を含む部品を組み込んではならない。(第1部の規定による。)	
				箇条 32	箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性 (第1部	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					の規定による。)	
第十三条	電気用品から発せられる電磁波による危害の防止	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 32	箇条 32 放射線、毒性その他これに類する危険性（第 1 部の規定による。)	
第十四条	使用方法を考慮した安全設計	電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	19.7 19.9 22.40 22.49 22.50	19.7 人がついていない状態で運転する機器は、拘束試験において、巻線の温度が表 8 に規定する値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。） 19.9 遠隔制御若しくは自動制御によって運転するモータをもつ機器、又は連続運転を行う可能性がある機器には、過負荷運転試験において、巻線の温度が規定の値を超えてはならない。（第 1 部の規定による。） 22.40 遠隔操作の機器には、機器の動作を停止させるためのスイッチを取り付けなければならない。（第 1 部の規定による。） 22.49 遠隔操作の場合、運転持続時間を設定しない限り、機器が始動できないようにしなければならない。（第 1 部の規定による。） 22.50 機器内に組み込んだ制御装置がある場合、それが遠隔操作によって操作される制御装置よりも優先されなければならない。（第 1 部の規定による。）	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十四条 続き				22.51 30.2.3	22.51 機器上には、機器が遠隔操作に調節されていることを示す視覚的表示がなければならない。(第1部の規定による。) 30.2.3 遠隔操作の機器及び人の注意が行き届かない状態で動作する機器については、非金属材料に燃焼試験を行わなければならない。(第1部の規定による。)	
第十五条第1項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■該当 □非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転 (第1部の規定による。) 異常運転試験において、機器は、危険な誤動作を起こしてはならない。	
第十五条第2項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■該当 □非該当	箇条 24 24.101	第1部の第十五条第2項に該当する規定によるほか、次による。 箇条 24 部品 24.101 温度過昇防止装置は、非自己復帰形でなければならない。	
第十五条第3項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	□該当 ■非該当	—	—	不意な停止によって、一般的に、人体に危害を及ぼし又は物件に損傷を与えるおそれがないため、非該当が妥

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
						当と考える。
第十六条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定するとともに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 10 箇条 19 25.8	箇条 10 入力及び電流（第 1 部の規定による。） 機器に定格入力（定格電流）が表示されている場合、通常動作温度における入力（電流）は、許容値を超える差があってはならない。 箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 故障状態の下での機器の安全性をヒューズによって確保する場合は、適切なものを選ばなければならない。 25.8 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第一に適合したコード以外の電源コードの導体は、表 11 に規定する値以上の公称断面積をもつものでなければならない。（第 1 部の規定による。）	
第十七条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 19	箇条 19 異常運転（第 1 部の規定による。） 電子的スイッチを持つ機器には、イミュニティ試験を実施する。	
第十八条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	J55014-1 等の別規格で規定されている。
第十九条	表示等（一般）	電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見や	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	7.14	7.14 表示は、容易に判読でき、かつ、耐久性があるものでなければならない。（第 1 部の規定による。）	

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十九条続き		すい箇所容易に消えない方法で表示されるものとする。				
第二十条第1項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。</p> <p>一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のものに限る、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる換気扇を除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。）</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定しているため、整合規格は不要。
第二十条第2項	表示等（長期使用製品安全表示	二 電気冷房機（産業用のものを除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十条第2項 続き	制度による表示)	かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				
第二十条第3項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示)	三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上
第二十条第4項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示)	四 テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 9335-2-74:2016

規格名：家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第 2-74 部：可搬形浸せきヒータの個別要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二十 条第4項 続き	示)	<p>易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>				